

I もし私達への神の恵み、御力がなかったら？今の私達は？

1. 「あなたがは自分の背きと罪の中に死んでいた者であり」：1。「自分の」。他人の罪ではなく、自分の罪。人は皆、神の前に罪人。「背き」：過失、過ち、違反。「罪」：原語は、ハマルティア。的外れ（神という真的のから外れて生きている）、罪の意。「罪とは律法（神の御言葉、神の戒め、神の御心）に違反することです」（Iヨハネ3：4）。「死んでいた」：聖書で「死」は分離を意味する。主に救われるまでは、私達は自分の背きと罪の中で霊的に死んでいた。神の戒めを守るのに無力だった。又逆らっていた。命の源である神から離れて、神との交わりがなかった。自分の罪に縛られ、罪、悪と交わっていた。永遠の滅びに向かって進んでいた。※こんな私達を救って下さった！感謝します！→「背きの中に死んでいた私達を、キリストとともに生かしてくださいました」2：5。

2. 「かつては、それらの罪の中であってこの世の流れに従い」：2。原語：この世の時代に従い。神の不動の御言葉に従うのではなく、この世、時代の流れ、風潮、罪の世の秩序に従ってしまっていた。※こんな私達のために→「キリストは、今の悪の世界から私達を救い出そうとして、私達の罪のためにご自身をお捨てになりました」（ガラテヤ1：4）。

3. 「空中の権威を持つ支配者、すなわち、不従順の子ら（神に従わない罪人）の中に今も働いている霊（悪魔、サタン、墮落した天使。イザヤ14：12－15、エゼキエル28：12－17）に従って、歩んでいました」：2。

4. 「私達もみな、不従順の子らの中であって、かつては自分の肉の欲のままに生き、肉と心の望むことを行い」：3。「肉」：人間の罪の性質、本性、神からの働きかけのない人間性、罪の支配下にある人間性、人間本性の傾向。「肉の行いは明白であって次のようなものです。淫らな行い、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、泥酔、遊興」（ガラテヤ5：19－21）。「肉と心のままを行い」：私達を造られた神に同い、神の望まれる事を行うのではなく、自分の罪に支配された心の望むままを行っていた私達。罪の奴隷だった。「罪を行っている者はみな、罪の奴隷です」（ヨハネ8：34）。本来私達は、素晴らしい神に依存して生きるように神により造られた。しかし神から離れた人間は、神に依存する代わりに、罪、悪習に依存するようになる。※脳が、罪、悪の快楽を覚えると、一時は、悪習から離れても、脳が覚えた悪の快楽は、私たち人間を悪へ引き戻してしまう。依存症の人々の日々の戦い。一生続く。「もう大丈夫と思った時が危ない」。一日一日を生きる。私達も他人事ではない。罪、悪の誘惑に強い人はいない。三位一体の神に、日々、一瞬、一瞬、拠り頼もう。一人では弱い。互いに交わり、自分の弱さを打ち明け、互いに祈り合いたい。悪い事、罪に近づかない消極面だけではなく、積極的に、良いもの＝命ある御言葉、御聖霊、神の恵み、愛、神と人との交わりの恵みを、心に、人生に入れる人は幸いです。私達の人生は、目に入れるもの、心に入れるものに、大きく左右される。体の健康も同じ原則が当てはまります。健康な体の為には、栄養のバランスの良い食物を適量に体に取り入れる事が必要です。※次の世代を担う子供達の心に、最も素晴らしい御言葉（霊的な栄養）を教える、心に入れる尊い働きの子供ステップ、家庭礼拝、ディボーション、サマーキャンプ（当教会からも4名の参加者。感謝！）の祝福の為に祈りたい。「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ」（伝道者の書12：1）。御言葉は、子供達を、大人の私達を霊的に養い、正しい道に導いて下さる。

5. 「ほかの人たちと同じように、生まれながら（本来は、本性のままなら）御怒りを受けるべき子らでした」：

3. 「御怒り」とは、怒っぽいという意味ではなく、罪は罪として正しく裁かれる聖なる怒り。罪に対する神の正しい刑罰、さばき。私達は、神の御怒り、神の正しい刑罰、さばき、を受けて当然の罪人でした。自分の数えきれない罪の為に滅んで当然の私達でした。

Ⅱ 絶望的な全人類への驚くべき朗報、良き知らせ、福音→「しかし」：4は大切なみことば！私達の人生を変える「しかし」。神は、私達罪人をお見捨てにならなかった。

1. 「あわれみ豊かな神は、私たち（ユダヤ人、異邦人、すべての人々）を愛して下さったその大きな愛のゆえに」：4。

①「あわれみ」：同情、慈悲。滅ぶべき私たちをご覧になり、深く憐み、救いたいと思われ、行動となって現れた豊かな憐み。

②「私達を愛して下さったその大きな愛のゆえに」：愛のみが神を動かした理由です。最も大切なもの（ひとり子の御子イエス）を私達に、クリスマスと十字架に与えて下さった大きな本物の愛！「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」（ヨハネ3：16）。私達がまだ罪人であった時、私達の罪の為に主が身代わりに死んで下さった愛！「私達がまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んで下さったことにより、神は私達に対するご自身の愛を明らかにしておられます」（ローマ5：8）。

2. 「背きの中に死んでいたこの私達を、キリストとともに生かしてくださいました。あなたがたが救われたのは恵みによるのです」：5。

①「キリストとともに生かし」。「ともに生かし」の原語：一緒に生かす、命を与える。背きの中に死んでいた私達が、私達の罪の為に十字架で死なれ、三日目に復活された主を信じ、御聖霊により主につながられる、一体とされる。そして私達に罪の赦しと新しい命が与えられ、新しい人生が始まる。罪の赦しだけでなく、主に頼る時、罪の力からの解放、悪い習慣からの解放も与えて下さる。何という恵み！私達が、重荷を負っている時、主は、その重荷、悩みを深く理解し、私達を支えて下さいます。「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」（マタイ11：28）。主は、私達のそばに常におられ、力と慰めを与えて下さいます。また、主が満ちておられる主の体なる教会の礼拝の御言葉や主の臨在に触れる恵みや主の恵みと悩みの分かち合いの交わりを通して、主の力と慰めを与えて下さいます。

②「あなたがたが救われたのは」：「救われた」は、完了形。過去に救われた恵みが今も続いている。私達は、主を信じて「すでに」義と認められ（無罪とされ罪が赦される。主の義の衣を着せられ正しい者と見なされる）、「現在」主の御姿に変えられ続け（聖化）、「将来」主の再臨の日に主とお会いし主の栄光の御姿に変えられる（栄化）という素晴らしい救いを受けているのです。③「ただ恵みによるのです」：私達が何か良い事をした報い、報酬としての救いでは全くない。ただ神の一方的な恵み（原語がカリス：好意、愛顧、寵愛、恩恵、恩恵の贈り物、賜物）です！「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖い（十字架の血という代価を払っての滅びからの買戻し）のゆえに、働なしに義（無罪・神の前に正しい）と認められる（無罪、正しいと宣言され、神に受け入れられる）のです」（ローマ3：23, 24）。

祈り：自分の罪の中に死んでおり、悪の世の流れに従い、悪魔に従い、自分の罪の心の望むことを行い（神の御心に背き）、御怒りを受けて滅んで当然の私達を豊かに憐み、愛し救って下さった神に心から感謝し、あなたをほめたたえます！豊かな憐みと大きな愛で愛されている私達も、先行する神の恵みに心から感謝し、神を愛し、互いに愛し合い、福音を伝え、主の教会を建て上げることが出来ますように！